岡谷市史編さん室だより『覧古考新』No.14
2024(令和6)年 4月
岡谷市教育委員会生涯学習課
岡谷市史編さん室 編集･発行
岡谷市中央町1-11-1 イルフプラザ3F
TEL 0266-78-8455

覧古考新 ：古い事柄を顧みて、新しい問題を考察すること
～岡谷の歴史を深く思い、岡谷の今を重ね、岡谷の未来が拓けるような新しい市史をめざして～

こぼれ話～わたしたちの岡谷を知ろう 1～

― 諏訪校長会「ようこそ諏訪へ」（令和6年4月8日　講師：市史編さん室　小林 博）から ―
諏訪校長会:諏訪郡市6市町村の47(小・中・特別支援)学校長で組織

渡辺三大臣と県宝 旧渡辺家住宅

人物肖像写真出典: フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』（パブリックドメイン）

渡辺斧蔵

渡辺 千秋

1843（天保14）年
-1921（大正10）年
明治43年　宮内大臣

渡辺 千冬

1876（明治9）年
-1940（昭和15）年
昭和４年　司法大臣

渡辺 国武

1846（弘化3）年-1919（大正8）年
明治25年　大蔵大臣　信州初の大臣

住宅写真2枚：岡谷市ホームページより

茅葺屋根葺き替え工事のため、
令和6年4月1日～9月30日まで休館

渡辺家：代々高島藩に仕えた散居武士（城下町でなく在郷に住んだ藩士）の家で、現存する在郷武士の住宅として貴重な建築物である。明治期にこの一家から三人の大臣が出ており、千秋、国武兄弟はこの住宅で育ち、千秋の三男の千冬は国武の養嗣子となった。

渡辺千秋書「長地学校」（明治26年）長地小学校所蔵

書額写真：2024（令和6）年　市史編さん室撮影

岡谷の先人が献納した諏訪大社秋宮神楽殿前の狛犬 ～復元の歴史～

写真：2024年　市史編さん室撮影

左の狛犬台座裏面に「奉献者丁丑同年会員氏名」として、平野村38人、川岸村12人、湊村5人の名前が記されている

＊丁丑（ひのとうし）　明治10年か？

右の狛犬台座左側面「奉献記」より

大正十五年諏訪郡平野村川岸村湊村ノ三村ニ在住ノ同志相謀リ丁丑同年会ヲ組織シテ狛犬一對ヲ廣前ニ奉献セン事ヲ決議シ昭和四年原村出身ノ彫刻家ニシテ其道ノ権威トシテ重キヲナセル清水多嘉示氏ニ其製作ヲ囑スル・・・時恰モ世界的財界不況時ニ際会シ会員ノ苦慮アリ然レドモ万難ヲ排シ不撓不屈目的ノ貫徹ニ努メ・・・・・

神楽殿向かって右側の狛犬台座の裏面「狛犬復元の記」を要約

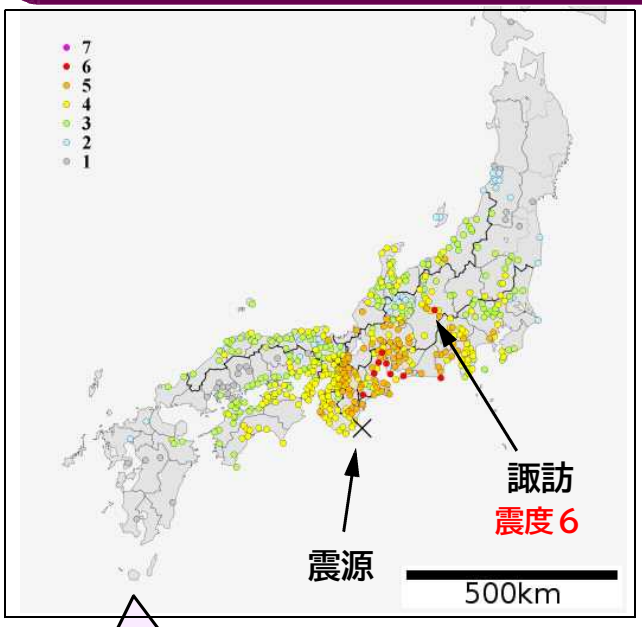
□昭和5年11月　狛犬完成
　作者　原村出身の彫刻家
　清水多嘉示氏

□昭和19年9月
　第二次世界大戦による金属回収の国策に従い狛犬を供出

□昭和35年10月 狛犬完成
　㈱間組神部満之助社長が、
　復元献納を快諾し、原作者
　清水多嘉示氏（日展評議員）に
　製作を依頼（16年ぶりに復元）

昭和４年に始まる世界恐慌のなかにあっても、不撓不屈の精神で狛犬奉献の目的を貫徹

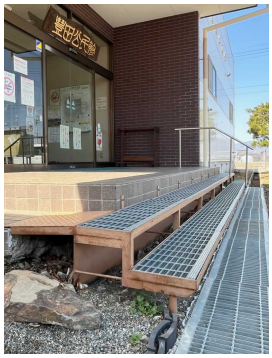
地震への備えは？～昭和の東南海地震から８０年～



1944年 東南海地震の震度分布

出典：Wikimedia Commons 利用者：As6022014（cc-by-sa-3.0）

１９４４（昭和１９）年１２月７日午後１時
震源域から２００kmも離れた諏訪市、岡谷市でも多くの建物が被災。諏訪湖周辺の軟弱な盆地構造により、特異的な強い揺れに見舞われた。「岡谷市史中巻」（年表～１９４５年）に記載はない。



諏訪市豊田公民館の地盤沈下

フィリピン海プレート上面でS波が広角反射したものが諏訪盆地で顕著に増幅。この地域の震度が局地的に大きくなった可能性が指摘されている。

写真3枚：2024年　市史編さん室撮影

昭和19年の被害の実態を伝える　同公民館敷地の碑「東南海地震　烈震の地」2007（平成19）年12月7日東南海地震体験者の会 建立

・マグニチュード 7.9
・諏訪　震度 6
・建物被害　全壊 21 棟
　　半壊 82 棟
　損害あり　　316 棟

『太平洋戦争敗戦の９ヶ月前、軍の報道管制下で発生した「隠された大地震」であった』と記されている。

前回の巨大地震 安政東海地震から90年ぶりでの発生。今年（2024年）で80年が経つんだね！

そのとき岡谷は‥

①諏訪湖沿岸の高校では、校庭が凸凹になるほどの地盤被害
②諏訪湖から離れた民家でも壁に亀裂
③湊地区では、液状化現象が確認
④長地村東堀で、諏訪湖畔の住宅や工場に倒壊したものがあった
⑤横河川河口の三角州には亀裂を生じ、付近の墓石は全倒
　湖畔の震度は５強以上と推察
⑥横河川扇状地中程の東堀地区ではその半分が倒れた。

①②③【引用文献 奥山加蘭（2020信州大）：昭和19年東南海地震における諏訪地域の被害状況に関わる考察」】
④⑤⑥【引用文献 原田智也・佐竹健治・古村孝志（2018 東京大学地震研究所）、室谷智子（国立科学博物館）：「1944年年東南海地震（M7.9）の震度分布（2）-調査表の欄外に記された被害と諸現象の特徴-」】

現在は・・

◆岡谷市は、「南海トラフ地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法」に基づき、南海トラフ地震防災対策推進地域に指定されており、最大震度は6弱とされている。

出典:「岡谷市防災ガイド」2020(令和2)年 岡谷市総務部危機管理室発行 p 7

さらに・・・

◆市に最も大きな影響を与える「糸魚川-静岡構造線断層帯(全体)」の地震によって、震度5から7の強い地震が予想される。

出典:「岡谷市防災ガイド」2020(令和2)年 岡谷市総務部危機管理室発行p 8

まずは知る！

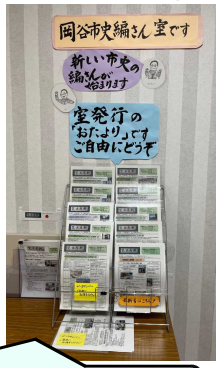
詳しく見てみよう
岡谷市防災ガイド(ハザードマップ)
<2020年改訂版>

市史編さん事業が本格的にスタートします

市史編さん事業を本格的に進めていくため、
これまでの「岡谷市史編さん準備室」は、本年度から
「岡谷市史編さん室」に名称を変えました。
場所はイルフプラザ3Fのカルチャーセンターです。
どうぞよろしくお願いします。

「覧古考新」のバックナンバーはこちらから！

アクセスしてね！



カルチャーセンターの「覧古考新」コーナーでは紙ベースでバックナンバーをそろえてあります。ご自由にお持ちください。